平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立緑台小学校

1　調査結果の分析と考察

	特長	課題
国語	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って自分の理解を確認するための質問をしたり、自分の考えをまとめたりできる。 ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができる。	・学年漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと。 ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。 ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。
算数	・台形について理解している。 ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 ・示された減法に関して、成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。 ・目的に適した伴って変わる2つの数量を見いだすことができる。	・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること。 ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること。 ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること。 ・示された除法の式の意味の理解。
質問紙	・朝食の摂取や、決まった時刻の起床・就寝など、基本的な生活習慣が身についている。 ・家の人と学校での出来事について話している。 ・物事を最後までやり遂げて、嬉しかった経験がある。 ・学級のみんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、嬉しかった経験がある。 ・学校の決まりを守っている。 ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。 ・人の役に立ちたいと思っている。	・学校の授業時間以外の平日に読書をしたり、学校図書館や地域の図書館を利用したりする児童が少ないこと。 ・住んでいる地域の行事に参加する児童が少ないこと。 ・新聞を読む児童が少ないこと。

2①　授業の充実に向けた重点的な取組

・朝モジュールでの計画的な指導を継続し、言語や四則計算などについての基礎基本の力を育む。
・調べ学習の際、図書室や学習内容と関連する書籍を積極的に活用させ、施設利用への広がりや本への興味関心につなげる。
・学習の中に「書く」活動の時間を設け、意図に合った必要な情報から筋道を立てて表現する力を育むとともに、既習の漢字については進んで使用するように指導する。
・学習場面も含め、日常生活の中で、自分の考えや伝えたいことを自分の言葉を使って、伝えることを指導する。
・自らが、学級の一員として諸活動の中で仲間と協働して主体的に学級づくりに取り組み、充実感や達成感を感じられるような指導を心がける。
・生活科や総合的な学習の時間では、児童が主体的に取り組めるように、活動の中での気づきや疑問、問題の解決や改善に向けての発想を大切に扱う。

2②　家庭（地域）への発信内容（協力依頼事項）　※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・多くの児童に基本的な生活習慣が身に付いています。また、親や祖父母など家族の大人と学校の話をするという児童も多く、ご家庭でのコミュニケーションがしっかり取れていることが感じられます。児童が、健康に、安心して登校し、充実した学校生活を送れているのは、そんなご家庭のご協力があってのことと考えます。ありがとうございます。
・学校での学びをより確かなものにするために、朝モジュールを活用した基礎基本の学習や、家庭学習に取り組んでいます。特に家庭学習の習慣化については、引き続き、ご家庭での声かけや環境を整えること、無理ない時間設定などのご協力をお願いいたします。
・人の役に立ちたいと考えている児童も多いです。学校の中でも係や当番活動、委員会活動など、学級や学校のための仕事に取り組んでいます。ご家庭でも家族の一員としての役割を任せられることにより、人のために役に立つという達成感を持ち、すがすがしい思いを経験できるとよいですね。